

(単元名) アーノルド・ローベルになって『ふたりは○○』の絵本をつくろう

教材名「お手紙」光村図書2年下

1. 単元で育む資質・能力の3つの柱

【学びに向かう力, 人間性等】 ・話を考えるために, 進んで関連図書の本を読んだり, 場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像したりすること。	
【知識及び技能】 文や文章 (1)カ ・文章の中における, 主語と述語との関係に気付くこと。	【思考力, 判断力, 表現力等】 C 読むこと (1) ◎エ 場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像すること。 イ 場面の様子や登場人物の行動など, 内容の大体を捉えること。

単元の目標

○登場人物の行動や会話について, 場面の様子と結び付けて想像を広げながら読み, お話を考えることができる。

学習内容・活動

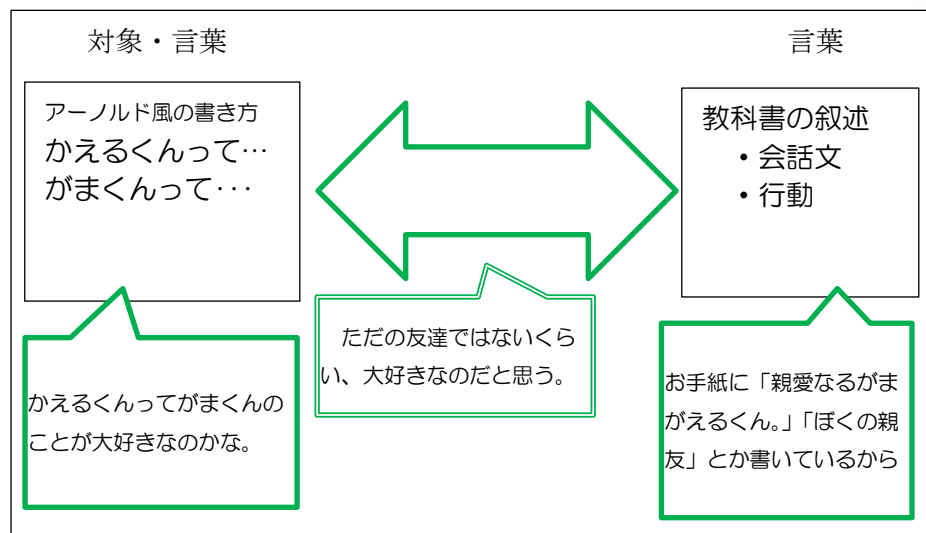
アーノルド・ローベル風のお話をつくる。

- C読むこと (エ)
- 「お手紙」や「ふたりは」シリーズを読み, がまくんとかえるくんの行動や会話から, がまくんとかえるくんらしさを想像し, 作りたい「お話のタネ」を書き, 「お話ポケット」にためていく。
 - ・「お手紙」の会話文から, がまくんは, すねやすいのかなと思いました。こまったがまくんをかえるくんがなぐさめる話にしよう。(イ)
 - 「お手紙」の挿絵を基に, 場面やがまくんとかえるくんが何をしたのか, どのようなことをいったのかを捉える。
- 【知識・技能】(1)カ
- お話の表現の特徴を見つけ, 想像したことをもとに, 作りたい「お話のタネ」を書く。
 - ・同じ人の会話文が続いているよ。「 」の後に『と』がなくて, 『言いました』だよ。書くときに使おう。
 - ・二人の話し方がおもしろいよ。「～かい。」「～だよ。」「きみ」を使ってお話を書こう。

指導事項

- 【C読むこと(1)エ】
場面の様子に着目して, 登場人物について具体的に想像すること。
○何をしたのか
○どのような表情・口調・様子なのか
○なぜしたのか(理由)
- 【C読むこと(1)イ】
登場人物の行動を基に内容の大体を捉えること。
○「だれが」「なにをした」「どのようなことを言った」「どうなったのか」
○挿絵からの想像
- 【知識・技能】(1)カ
○文の中における主語と述語との関係に気づくこと。

2. 言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係づけ



言語活動

人物の行動や会話から登場人物について捉え、話を考える。

3. 「読むこと」の資質・能力の系統

第1学年
◆場面の様子について, 登場人物の行動を具体的に想像する。

本単元

第2学年
◆場面の様子について, 登場人物の行動や会話を具体的に想像する。

第3学年
◆登場人物の気持ちの変化や性格について, 場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像する。

第4学年
◆登場人物の気持ちの変化や性格, 情景について, 場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像する。

第5学年
◆人物像や物語などの全体像を具体的に想像する。
◆登場人物の相互関係や心情などについて, 描写を基に捉える。

第6学年
◆人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりする。

中学校
◆場面と場面、場面と描写などを結び付けて, 内容を解釈する。
◆文章の構成や展開、表現の効果について, 根拠を明確にして考える。